

# 伝統と創造

「これまで」を大切に 「これから」をみんなの手で

## 高 畠 同窓会だより

第 20 号

平成10年10月10日  
静岡県立磐田南高等学校  
同窓会  
印刷 総合印刷(株)大進堂

### 新会長・新校長が就任

八月十六日、第七十二回同窓会総会が磐田グラウンドホテルで行われ、鈴木源市会長（高6回）をはじめとする新役員が誕生しました。新支部誕生の朗報や、活発な支部活動が報告され、厳粛且つ新鮮な会となりました。続いて懇親会が盛大に行われ、母校は四月、柴田和洋校長の後任として、油井完爾校長を迎えました。初代尾崎楠馬校長以来、すべての職員、卒業生に受け継がれてきた「熱き思い」が校内に充ち、伝統がしっかりと息づいています。



挨拶をする新会長

▼卒業60周年を迎えた中12回生

第72回 見付中学校 同窓会  
磐田南高等学校



### インタビュー

校長 平成五年度から三年間磐田西高校に勤めました。大変生活しやすかったという印象が残っています。南高の御感想は？



油井完爾校長

### 先輩に見守られて

とを無上の喜びとして取り組んで参ります。また、校庭に尾崎校長の頌徳碑・小田原教頭の顕彰碑を始め、伝統や歴史を感じさせるものがたくさんあることに驚いています。それらが同窓会の皆様の御厚志によるものであることを知り、深く感謝申し上げます。

### 心豊かな磐南生に

母校の益々の発展と、同窓生の皆様の御活躍御健勝を祈念申し上げ、今後一層の御指導と強力な御支援をお願い申し上げます。

校長 はぐま祭の活気に接して「さすが磐南」と思いました。孟子の「天下の英才を集めて教育する」と同じように、私どもも「地域の英才を集めて教育する」と

様々な面で、学ぶことが活気につながりますね。校長 そのとおりです。ベルの音とともに始まる授業が中心ですが、他には、ボランティア活動が挙げられ

懸案となっております。質実剛健・真剣至誠・文武両道の教育理念をゆるぎないものとし、将来も脈々とそれが生かされるためには、同窓生一人ひとりが歴史と伝統を築いて来ました今の地に存続させるしかないものと考えます。

更にも、時代の流れと人心の変化の著しい中で、特に若い世代への同窓生としての働き掛けが重要課題であり、情報交換を通して相互の交流を期待します。インターネットの活用や、クラス・学年等の会合の情報収集・提供についても、今後の課題であると考えております。

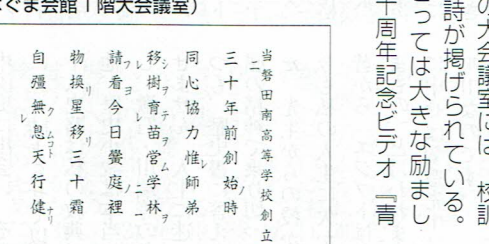
委員による活動だけではなく、創作絵本の作成や聞き取り調査を通じて、全生徒が地域にかかわる経験を持つています。リーダーたるにふさわしい人間性として、孔子の「恕」に込められた心こそ大切です。

運動部、文化部ともに大活躍です。御専門の理科関連クラブには注目なことであります。

校長 桶ヶ谷沼や天竜川といった研究対象が身近にある点で恵まれていますね。生物部の「環境庁長官賞」、地学部の「山崎財団研究助成金」等、長年の努力が認められたものです。

### 労作教育を今に伝える

はぐま会館一階の大会議室には、校訓と尾崎楠馬先生の詩が掲げられている。合宿する生徒にとっては大きな励みだ。また、創立七十周年記念ビデオ「青春は永遠に」と高二十一年生作成ビデオ「下力中賛歌・尾崎楠馬物語」も好評だ。創立以来七十年、「同心協力惟師弟」は変わらない。

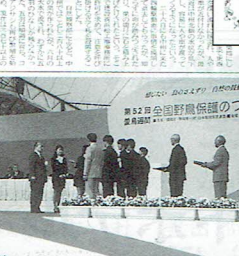


▲尾崎校長の詩に包まれて生徒は合宿する（はぐま会館1階大会議室）

尾崎楠馬先生の出身地 高知県 森山泰宏さんより  
青春は永遠に  
高知 森山泰宏さんより  
当磐田南高等学校創立卅周年記念式有感  
三十年前創始時  
同心協力惟師弟  
移樹育苗管學林  
請看今日業庭裡  
物換星移三十霜  
自強無息天行健  
昭和七年三月  
尾崎楠馬  
奉公專意克己私  
欲開芳園藉棘茨  
栽培灌養致情深  
松楸交枝自作陰  
逐年更改盛名揚  
循望將來校運昌  
昭和二十一年一月六日  
石川博敏

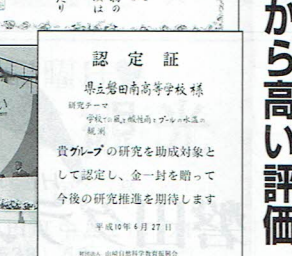
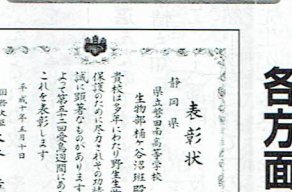
上の漢詩は昭和27年創立30周年に尾崎先生が詠まれたものを、昭和37年創立40周年に鈴木喜市郎先生が揮毫されました。表装寄贈 石川博敏さん（中4回）

### H10.7.30 静岡新聞より



▲全国からの参加者を迎えて、受賞式は浜北森林公園で挙行了された。

### 生物部・地学部 自然観察部



▲地学部に贈られた認定証

### 地域に密着した研究

磐田南高創立七十周年記念ビデオに感激いたしました。すばらしい点が幾つかありますが、中でも「師弟同行」の建学の精神が徹底して実践され、



尾崎楠馬先生の出身地 高知県 森山泰宏さんより

脈々と継承され歴史と伝統を刻んでいること。知育・徳育・体育をいすれも大切にしたい人間教育こそ労作教育に象徴されるものであり、今日の大学進学のみを目標とした教育を否定するものであります。

# 竹山裕氏 国務大臣に就任

## 柴田岳夫さん(中11回)からのエール

竹山裕君が参議院議員に出馬した昭和五十八年以来、われわれ同窓生は超党派で支持してきた。幸い彼には政治家特有の変なクセはない。友情の支持に添えて、彼もまた誠実に母校、同窓生の要望にこたえてくれ、政歴十有五年の努力が報われて閣僚に列した。わが同窓会より初めての大臣が実現したのである。

同窓会と政治の関係は難しい。しかし話は簡単だ。「同窓の桜」は、すべてを超越する。「貴様と俺とは同窓の桜、同じ学校の庭に咲いた」友情は、イデオロギーも政党も超えて結ばれる。地域では超党派で支援してくれる。だから、同窓や母校のためには超党派で応援してくれるならならぬ。

現在、磐城南高校出身の県議員は六人いる。一高校出身の県議員の数は、一高校出身の佐原徹朗(高20回)が議長に就任され、竹山長官と共にめでたい年になった。他の県議員と共に超党派で、母校の諸問題解決のために協力一致して御努力下さるようお願いしたい。

# 同窓の桜 いま花開く

8月16日午後、同窓会懇親会が始まると、会場を揺るがす万歳の聲が上がった。竹山裕参議院議員(高4)が、小淵内閣の国務大臣科学技術庁長官に就任し、この日真先に母校の同窓会に駆けつけてくれたのである。嬉しいじゃないか。同窓生に対する友情と母校に対する愛情は、大臣となっても、いささかも変わることはない。

▼江間前会長の音頭で万歳三唱



今年はずいぶん同窓会出身の佐原徹朗(高20回)が議長に就任され、竹山長官と共にめでたい年になった。他の県議員と共に超党派で、母校の諸問題解決のために協力一致して御努力下さるようお願いしたい。



支部長(高8回) 大橋 正隆

## ●念願の東海支部旗揚げ

▽設立 平成10年4月11日  
名古屋を中心とする東海地域に支部を置いて、関東、地元静岡県、東海、関西と東海道筋の組織充実を図りたいという、同窓会本部の長年の構想と熱意に賛同し、

取り敢えず少人数ながら発足させることとなりました。発足式は、本部から江間会長(高5)、梅葉副会長(高8)、村田副会長(高18)のご臨席のもとに13名が出席し、愛知厚生年金会館に

▽支部長 大橋正隆(高8)  
▽事務局 名古屋市中村区椿町21-2 建電設備株式会社  
名古屋支店内・電話〇五二一四五―一五七七―  
(大橋の勤務先)

▽お願い  
愛知県・岐阜県・三重県にご在住の見中・南高の卒業生で本支部の趣旨にご賛同の方、是非とも一報下さるよう、お願い申し上げます。(記・大橋)



田代 武さん(前より2列目、左より4人目)

## ●アスリートからの手紙

### 菊友会(伊藤菊造先生を偲ぶ会)に出席して

高4回 田代 武

と、ポジティブに考え直してみた。すると不思議に暗雲が消え去り、楽しかった記憶が鮮明に甦った。

高1(昭二十四)インターハイは大阪。八百メートルに出場。予選トップゴールがオーバーゾーン、涙の失格。高二宇都宮。この時は東海四県の覇者として百・二百メートルにエントリー。当日は朝から、日光地方特有の激しい雷雨に見まれ、グラウンド一面が水浸しとなりスタートに苦労したことが懐かしい。予選百・二百、二百・四百メートル、準決勝百・二百メートル共三位失格(ファイナルは六名)。高三浜。八百メートル五位入賞。我が炎の青春は、その年の秋風と共に終焉を迎えた。この回顧は、き

ら星の如く輝いていた諸兄から見ると取るに足らない小事でしょうが、これこそが我が青春の至宝です。菊造先生、諸兄よ！己の力のみでは決して得られなかったであろう青春のあの「夢」と「感動」と「熱き想い出」を本当に有り難うございました。足の故障が癒されぬ故、やむなく進路をアスリートからヘッドワーカーへと大転換。私には次の道を選んだのです。当然、親兄弟が事情も知らず心配し、反対してきた(入部時多大反対)。「鉄は熱いうちに打て」の諺の如く、先生から多感な少年期に打たれた私の心身には、既に不屈の精神が芽生えていた。卒業の年、東京園科大入學。六年間は講義、実習、テスト等が夜遅くなり、病気には注意した。特に四年間の専門課程はハードで、記憶する学問の量には閉口した。昭和三十三年卒業。同春、第二十三回園科医師国家試験に合格。同期の桜は約3/4に減。国家公務員共済組合九段坂病院にて研修。総てが無事終了できたのも青春のあの時の鍛錬が道こそ違え、大きく影響したものと感謝しております。

ときに、人は迷い苦しむことが有ります。そんな或る時、中国史に出会い、そのもの凄さに息を詰まらせて以来、史記、十八史略は私の教典です。その他、歴史小説は本当に楽しみだし、漱石・川端等の名作も欠かれません。人生に迷った時はいつも、歴史書に答えを求め、不屈の精神で乗り切つて参りました。先生からの授かりものは、今も私の人生に欠かせません。昔から「エジプトはナイルのたまもの」と言われます。大げさに申せば菊造先生は私のナイル川なのです。

運転免許は

**遠鉄磐田自動車学校**

・普通・大特・大型・自二・けん引

磐田市見付5015  
TEL(0538)32-7200(代)

総合建設業

**儀**

**石川建設株式会社**

磐田市今之浦5丁目1-1  
TEL(0538)36-0021

Health & Science

**磐田グランドホテル**

磐田市岩井2280  
TEL 0538-34-1211 FAX 0538-36-1012

### 高27回生が作成

## 人と人をつなぐネットワークに魅せられて

このホームページは高27回が総年次当番の年（平成8年）に誕生しました。インターネットが苦手な方この機会にちょっとのぞいてみませんか。

構成は7つに分かれています。

- ①見中）学校創立以来の
- ②磐南）母校の歴史
- ③本年度同窓会総会案内
- ④同窓会だより…今お読みになっているこの会報を紹介
- ⑤同窓会のしくみ…同窓会の組織や支部活動等
- ⑥ネットワーク…同窓生同志のコミュニケーションの場。掲示板に電子メール機能を使ってお知らせ等を書きこめば、いつでもどこでも、海外からでも…
- ⑦はぐま学生会…進学実績、大学生活あれこれ、受験の知恵袋

#### ●これからのホームページ

①ホームページの場所（URL）の変更

【旧】  
<http://www.imilink.com/bannan/>

【新】  
<http://www.iwatanet.com/bannan/>

②ネットワークの掲示板運営の拡大

今後希望により卒業年次毎にも作成します。希望年次は連絡下さい。

※連絡先…高27回中野真

E-mail: [nakano@imilink.com](mailto:nakano@imilink.com)

③現在の磐田南高の活動状況や先生方の異動情報等を掲載

④メルリストの充実  
就職活動、仕事、余暇、文化活動等、世代を超えて役に立ちます。

キーワードは“同窓生”  
人間ネットワークがさらにすばらしいものになることを願って。

高27回 中野 真

本校の校舎は老朽化が進み、地震に対して万全を期するために建て替える必要がある、との指摘があり、校舎建替えが本校にとって大きな課題となっていることは皆さん御承知のとおりです。ところが、いっぽう、一現在、校舎の建っている南側の区域に

は、遠江国分僧寺の伽藍地内と考えられる遺構が残存している。さらに、遠江国分寺の寺院地は、遠江国分僧寺の伽藍地と、グラウンドの北側に存在する遠江国分尼寺の伽藍を含めた範囲とされ、磐田南高等学校の校地はすべて寺院地に含まれることになる。」

「遠江国分寺跡の調査—平成6年度県立磐田南高等学校埋蔵文化財調査—」という調査報告が提出されています。かくして、現校舎が立っている地点での建替えは、特別史跡に連なる貴重な文化財の存在によって極めて困難であり、また、学校敷地内の他の地点での建設についても慎重な検討を要し、学校を他の場所に移転することも選択肢のひとつとしなければならぬとの意見が示されています。各方面からの努力にもかかわらず、残念なことに、現在のところ校舎建替え計画は足踏み状態にあるように見えます。

さて、私の南高での高校生活はきわめて貧しいものでしたが、それでも思い出というべきものが全くないわけでは

ありません。たとえば、防風堤を目にするたびにほろ苦い思い出とともに胸に浮かんでくることがあります。柄にもなく小心者の自分が下手ながらも、応援推進委員として大勢の学友たちの前に立ち校歌やエールの指揮をしたことです。特に、全校練習の際、西側防風堤斜面いっぱい並んだ3学年の群れなす学友と向き合い、運動場にひとり立ちのしかかるような圧力を身にひしひしと感じ、泣き出したような気持ちを抑え、ほとんどやけになって大声を張り上げたこと。今となっては懐かしい思い出であり、なにがしか今の自分を支える心の財産とさえいえます。

仮に本校が、どこか別の場所に移転したとすれば、このような私の思い出は、その生まれ出た場から浮き上がり、さまよい出し、陰影の多い

校門を後にして幾年月、昔の友は今どうしているだろうか？ そんなときは、磐南ホームページにぜひお立ち寄り下さい。地球の裏側からでもアクセスできます。知りたい・知らせたい便りの公開、私的な交換もできます。さあ、いますぐクリックオン！

「同窓会だより」に見られるような同窓の方々のこの場への熱い思いに接する時、本校はまさに文化財である、と考えざるをえません。つまり、私の言いたいことは、国分寺

# わが母校は六の夢

題字は高18回 小木 学

## 学校は生きていく文化財

は、遠江国分僧寺の伽藍地内と考えられる遺構が残存している。さらに、遠江国分寺の寺院地は、遠江国分僧寺の伽藍地と、グラウンドの北側に存在する遠江国分尼寺の伽藍を含めた範囲とされ、磐田南高等学校の校地はすべて寺院地に含まれることになる。」

くを失ってしまおうでしょう。この思い出をありありと抱きつづけるためには、本校がこの場において続けることが必要なのです。

さて、この校舎建替え問題

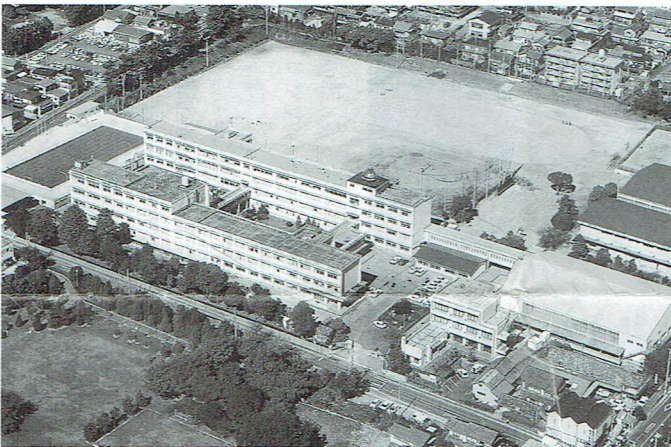
について文化財保護の担当者

と話す機会があった時に私は「国分寺跡はもちろん文化財だけど、学校だって文化財だ。しかも今生きていく文化財だ」と口にしたことがあり

ます。私は日本の教員ですから、文化財には関心がありますし、愛着ももっています。時には、文化財はなぜ大切なのかについて考えることもあります。もちろん、素人考えですから深遠な結論に至ることなどはありませんが、ひとつだけ言えることは、文化財は、学術的な意味を持つとともに、現代を生きる人々に感動をもたらし、智慧をさすけ、勇気をあたえ、地域への愛着をはぐくむものである、とい

跡も大切だが、ここにある学校もそれと同等に大切なのだ、ということ。この校舎建替えの問題が今後どのように進んでいくのか、おおいに注目していきたいと思えます。繰り返しのようですが、選択肢は、(1)現校舎が建っている地点での建替え、(2)現学校敷地内の他の地点での建替え、(3)学校の他の場所への移転の3つだといえます。このうち(3)は移転が本校の発展のためにぜひとも必要であるとの合意に発するものでないかぎり、避けるべきものと考えます。このことは本校にかぎらずあらゆる学校についてあてはまることだと思えます。したがって、選択肢は(1)と(2)のいずれかになるはず。この両者を、文化財保護が安全性優先かという図式からではなく、「歴史的文化的空間の中で、生徒たちが学び活動する素晴らしい」(同窓会だより「第19号」)の表現という観点から、技術的、経済的な可能性を検討していただけたらと願うものです。

### ●移転はさけるべきもの。



闘魂みなぎる応援団

うことです。

「同窓会だより」に見られるような同窓の方々のこの場への熱い思いに接する時、本校はまさに文化財である、と考えざるをえません。つまり、私の言いたいことは、国分寺

この道は、文化財の保護・活用という面からも、教育環境の整備という面からも、積極的にとりくむ価値のある事業であると考えられます。

高23回 田中 光夫

## 同窓会という世代と場所を超えた場

♥旅は心の日曜日♥

### 株式会社 エマ観光

代表取締役 江間 金作 (高5回)

本社/磐田郡福田町中島211の1

TEL. (0538) 58-1234代

営業所/磐田市二之宮37の2

TEL. (0538) 37-5555代



フジマルキチ

贈り物に！ 遠州名産

### 志そ巻・青しそ巻・味衣

製造元(株)松田屋本店 販売元(株)富士丸吉

磐田市富士見町 ☎0538(32)4158代

代表取締役 鈴木邦孔 (高10回)

御弁当から会社・施設の食堂運営まで  
総合「食」企業をめざす

### 株式会社 いわきゅう

本社 〒438-0086 磐田市見付5058の4

☎0538-32-9270

代表取締役会長 鷹野三平 (中8回)  
社長 鷹野 靖 (高15回)

出陣！ 再会！ 元気！

# 「やったぜ！」

## アーティスト・村松充昭ミニコンサート

高29回 山内 英典 (新宿在住)

そのたぐいまれな才能は、母校・磐田南高校在学中にすでに開花していた。いまや日本を代表する著名なキーボードリストとして名を馳せる村松充昭君。彼はこの日、「第72回同窓会」において、ベドロ&カプリシヤス3代目ボーカル・松平直子さんを伴い、堂どうの母校凱旋をした……。

当時、その独特の風ぼうから彼についた愛称は「モジャにい」。春四月、恒例の新入生歓迎会では、ブラスパンド部「ブルーキャビン」のコンダクターとして指揮をとる彼の頭の、そのふさふさとした髪の毛の中に、紙飛行機が突きささつ

## 懇親会アトラクション



今も変わらぬ「モジャにいスマイル」で会場をわかせた



南高在学時の村松さん

たというエピソードもある。ステージは「ジョニーへの伝言」「五番街のマリー」と十八番の曲が続く。さらびやかな衣装を身にまとった松平さんは、さすがに一流のプロ。洗練されたその歌唱力に、私の体はゾクッと震えた。かたわらでは、ポップな曲でたちの村松君がキーボードを奏でる。

彼らのパフォーマンスは充分過ぎるほど、会場全体を魅了しつくしていった。あちこちから間断なく拍手と歓声がとぶ。会場前方に陣取られた、見中心と格代卒業生の大先輩がたからも、熱い視線と温かい拍手をいだけた。

「ムラはとても個人的なんですよ。一見、何も考えていなさそうなのに、すべてをグローバルに観ていて、いつでも我われやスタッフをフォローし、リードしてくれるんです。そんな彼に絶大な信頼を寄せていた。



名演奏に、思い出話に…、ご満悦

また、この日の曲に使われた音は、すべて村松君がコンピューターで制作したものだった。音をデー

最後に、もう一人のクラス幹事・田島君に、この日の成功と、それまでの準備の労をねぎらうべく声を掛けた。すると彼は言った。

### 母校への想い深く

高5回 江間 金作



アトラクション担当・37HRの旧友に囲まれた村松さんと松平さん(左から2番目が、山内英典さん)

本年の総会をもちまして私を含めて四名の役員が退任することになりました。在任期間中、学校関係者、同窓会役員、評議員、そして、多くの同窓会生の皆様のご協力に衷心より御礼申し上げます。

また、平成七年には同窓会会員名簿を発行し、五千四百冊を完売いたしました。さらに、平成八年からはインターネットを通じて、母校及び同窓生に関する情報を公開しております。今後の母校の発展と同窓生皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。



いつでも お寄りください。

多様化する包装ニーズにお応えします。 多少に関わらずお取り扱い致します。

Aoshima

青島ビニール株式会社

磐田市中町220-5 TEL 0538-32-7378(代) FAX 35-5761

地域の発展に貢献します

総合建設業 株式会社 堀内土木

磐田市向笠竹之内273番地の1 TEL 0538-38-3231 FAX 0538-38-3239

堀内 豊 (高20回) 堀内昌文 (高22回) 鈴木庸夫 (高18回)

総合建築業

株式会社 米田組 yoneta

代表取締役 米田忠弘 (高26回)

本社/〒438-0078 静岡県磐田市中泉2480番地の2 TEL (0538) 32-5054(代) FAX (0538) 32-5486

# ガラスに魅せられて

## 高13回 寺澤彰紘さんの世界



作品づくりに取り組む寺澤さんの表情は、個展会場での時とは別人のよう。この秋には高知で、それから静岡、東京…と個展は続く



寺澤さんの工房は、磐田周辺が深緑の頃、新緑が眩しい、晴れた日には窓から富士が真近く見え、車で一分余り走れば朝霧高原が広がる涼やかな大気、景観に恵まれた所であった。

作品造りを拝見した後、寺澤さんご自身が大変な汗をかきはじめになりながら、私たちに器造りを体験させて下さった。

クリスタル硝子の溶解温度は一、一〇〇度ほどの事。一度火入れされた窯は窯の寿命が尽きる時まで火が消される事はないそうである。

作業は九〇〇度から一〇〇〇度で行なわれ、一メートル二、三センチほどの長さの吹き棒に巻き取って、

息を吹き込みながら、口と手で想う形に仕上げている。全身を使う、常に火傷の危険を伴う重労働である。今、手許にあるコップを造ろうと挑戦したが成らず、不思議な形の小さな器。小石を入れ、庭の犬糞など挿し、こそばゆい気持ちで自分の作品をみながら、風船をふくらますよりずっと息の力が要った事、同時に想う形に仕上げているかねばいけない事の難しさをつくづく思う。

荒々しい作業を経て生まれた寺澤さんの作品は、クリスタルの透明な美しさに輝いているが、冷たいイメージはなく、柔らかく優しい。私はそこに、人柄と高原の大気が写っているのを



そんなワインクーラーが夏の終りに出来上がる約束をしていた。

秋にはそれで冷やしたお酒を楽しもうと思う。

(明神)

「ほくの同級生が浜松で個展をやっているから……」と、昨年四月、松井義明さん(高13回)から連絡をもらったのがきっかけで、今年六月九日、富士宮市山宮にガラス工房「酔硝」を訪ねました。(編集部)

地図を頼りに行きつどもどりつ、高原の爽気に胸を打たれながら林の小道を分け入った。「やつと着いた」。女性七人の歓声が新緑と寺澤さんの笑顔に吸い込まれ、まずは安堵と感激の対面。農家の納屋を思わせるブレハブの工房、一歩入ると

時には、外の光を映し、時には、内に光を含み、自己を主張している。ガラス。

空気を占め、時間を停止させ、小宇宙を持っている。ガラス。

目に語りかけ、手にやさやかまかせ、私の心をなごませる。とても暖かいガラス。

寺澤 彰紘

### 生活に生きる温かいガラス作品を!

高13回 小杉 博俊 (横浜在住)

私、高校時代の寺澤君をほとんど知らない。というの彼はバスケット部で大活躍するスポーツマンで、しかも同期トップクラスの秀才。私ときては自転車通学も禁止されているのにオートバイで通学し、授業もろく

熱い室温がふわっとしたと同時に正面の真っ赤な窯の口が目に飛び込んできた。「ゴォー」。パーナーの低い音の振動が足の平に伝わり、それが真っ赤な口で揺れるかげろうの波長と重なった。「じゃあ、始めるよ」。寺澤さんは、背丈程の吹き竿を巻き取り口に入れたかと思ふとすぐ取り出し、水飴状のガラスを巻き取った竿の口から慎重に息を吹き込んだ。そして濡らした新聞紙を右手に、左手で竿を回しながら形を整えていった。そんな作業を繰り返す度に、コップかと思っていた器がどんどん大きくなった。そのまるで手品師のような早技を息をのんで見守ること一時間余。

見事な鉢が出来上がった。(洋子)

に出す放送室に閉じこもり、昼になると同時に放送を始めることに生き甲斐を感じ、六屯先生にいつも大目玉を食らうダメ学生。

こんな二人だから共通点の一つもなかった。

それが二十八年程前、私があるデザインコンクールで入賞し新聞紙上で発表されると、南高で同期の小杉ではないかと彼から手紙がきて、とても嬉しくそれから付き合いが始まった。

そんな彼が今から十三、四年前、会社を辞めガラス工芸の学校に行き、ガラス作家になると言ってきたのである。厄年になってからのことであり、クリエイター稼業の私の周囲ではこの年になると現役で活躍できるのは、ほんの一握りの人間になってしまふ。

そんな時である。

前号で母校図書館の利用を呼びかけましたところ、担当の大場直子さんから嬉しい報告をいただきました。そこで、よく利用されている後藤公仁(高19回)にお話を伺いました。



「図書館を訪ねられたきっかけは?」

後藤 高校の国語科の講師をしていて関係で、授業のために少し調べたいことがあって市の図書館に行ったのですが、私の探している本がなかったのです。その時、南高の図書館を思い出して訪ねたのが最初です。それは、いつ頃のことか。

友達として止めるのは当然であったが、彼はさつさと会社を辞め、学生生活を始め高校を出たばかりの若き仲間と遊び遊び、私の会社にも遊びにきてくれたものである。卒業制作も見せてもらったが、当然ながらとてもプロの仕事ではなくいささか心配したものであるが、自信満々?の彼は、今度はさつさと工房を造り本間に作家活動に入ってしまった。

十年以上経った今、彼の作品は安心して観ることができ、何よりも作品から伝わる優しく澄んだ温かさが貴重であり、じつと観ていると彼の純朴な顔さえ浮かび上がってくる。

きつとこの十年は、彼の人生を賭けた必死な闘いだっただろうなと思ひ、私も励まされるのである。

(聞き手 村松・大石)

すか? 後藤 二年位前かしらね。でもこの時は残念ながら当時の蔵書は書庫に隔離されていてみられませんでした。その古い本を、今回大場さんが大変苦労されて整理してくださりました。一歩書庫に入ると、当時の空気そのままという感じがします。

後藤 今でも、当時使っていた辞書や文庫本を開くと、百葉箱の周りで摘んだ四つ葉のクローバーの押し花ができてます。昔の威厳のある図書館を思い出します。

「ところで、母校との係わりで何か思い出は?」

後藤 大学四年の夏、恩師熊谷先生が生徒会顧問をされていて、生徒会の皆さんのキャンパスに同行させていただいたことがありました。在校生とのささやかな交流でしたが印象深い思い出です。

その後、一時期磐田を離れましたが、また戻って今度は、子供がお世話になりました。子供を通して係わることになりました。

卒業後、何十年も経ちますが、母校を訪ねられての印象はいかがですか? 後藤 木造の建物はすべてなくなってしまうとした、学校の様子も大分変わりましたが、娘が在学中に、正門で待ち合わせということになりました。私は当然、東側の坂を登った所と想像していたのに、娘は南側の門の所で待っていたということがありました。

「まだまだお話しは尽きませんが、今日はどうもありがとうございました。」

(聞き手 村松・大石)

**長尾 仁 税理士事務所**

長尾 仁 (高20回)

磐田市見付3719-1

TEL 0538(35)-9221 FAX 0538(32)-8735

各種オートメーション装置・自動溶接ライン・自動組立ライン

**株式会社 セテック**

常務取締役 明神玄一 (高18回)

〒430-0841 静岡県浜松市寺脇町713

TEL(053)442-5211代 FAX(053)442-1490

**株式会社 ワイズギア**

静岡県浜松市板屋町110-5 浜松第一生命日通ビル 〒430-0928

TEL 053-457-3201代 FAX 053-457-3200

鈴木 貞雄 (高17回)

馬淵 勉 (高19回)

税70

周知会だより

静岡同窓会

ネットワーク

# 植物に捧げたご生涯 黒澤美房先生を想う



▲平成9年8月12日ご逝去(享年90才)、磐田市営墓地に眠る先生のご指導で鈴木梅太郎賞を受賞した、高11回生長谷川寿一さん(左)、山崎庸夫さん(中)、大橋 忍さん(右)▶



高16回 岩田 尚喜

磐南の校章は遠州ハグマの葉を正五角形に図案化したもので、二十五年間母校生物学の教鞭をとられた黒澤先生の提案による。鶴ヶ池は母校から一番近い産地として知られている。

また、池周辺の照葉樹林下にはカンアオイの一種で花の筒部の内側の縦の網目が多く、三十本位ある和名イワタカンアオイが自生する。一九六五年一月九日採集標本により発見者黒澤美房、学名 *Heterotropa Kurosawae* (Suzuki, Makawa) が輝いている。

秋葉山を歩いた。卒業後、浜松山草会に所属し、趣味で山野草鉢栽培、年三回の展示をしているが、先生に講演をお願いし、その後、機関誌「曳馬野」三号誌へ寄稿を依頼したところ「文章化はいつまでも自慢話として残るから」とご遠慮された。再度お願いし「静岡県下で撮影したスマイル、学名にクロサワイの入りついている植物」の玉稿を掲載出来たのは最高の記念。先生が発見された植物のうち和名テンリュウカナワラビは先生宅で頂き今も小庵裏庭で生育している。

愛用のカメラを持って奥様と山草展示会にお見えになったお姿が昨日のように思い出される。

高11回 大橋 忍

黒澤先生との出会いは、私が本校へ昭和三十一年入学し生物部へ入部した時でした。当時生物部の夏季合宿は水窪町の山住神社と決まっていた。先生は温厚な人柄で誰でも受入れる包容力のある人でした。植物採集にしても一つ一ついねいに教えていただき、入部して良かったとつくづく感じたものでした。

当時、新聞紙上で話題となった「ミヤマツトリモチ」も黒澤先生が発見されたものと記憶しております。「遠州ハグマ」の群生地へも一緒に連れていただき、これが我が校の校章の植物かと感激した事もつい昨日の事のように思えます。早いものであれから四十年、振り返ると断片的に思い出が甦って来ます。私が



高30回 倉田 智弘

昨年九月、私は掛川市近郊の八高山(標高八三二M山頂は金谷町)に登った。

この山歩きの際、同行された講師の方が偶然、エンシウハグマを見つけた紹介して下さったので感激の対面を果たすに至ったのだ。

私自身、二十数年間ハグマとはカナムグラ(旺盛な繁殖力で葛、ススキ等と草

むら形成し、蔓や茎に固い毛があつて服にくっつく奴)のことだとばかり思い込んで、家族に自慢していた。

しかし、初めて出会ったハグマは全体的に小振りで、ヨモギとよく似た葉とすつと伸びた茎。白く可憐な花をつけ、雑草のイメージとは程遠い、清楚な山草であった。

ところで、在校生、同窓生の中で実物のハグマをご覧になったことのある方は一体どれだけいらっしゃるだろうか。そこで一つの提案なのだ。学園の一角でハグマを(保護する意味においても)育ててみたら如何だろうか。また、中高年の

生徒会の会長として活動をしてきた時、顧問が黒澤先生と松下芳夫先生でした。年度初めに各クラブ毎に予算の分配をする際、当時陸上部は花形であったため、配分を多額にしようという考えに對して「予算配分は公平に且つ各部が活動しやすいように」と言われたこと。文化祭の時、生徒会室でタバコの臭いがすると大騒ぎとなり、私が代表で十分説教されたこと(今でも誰か吸ったかは判明せず)。同級生のT君が校舎の屋根裏に入り野バトを捕獲し、生物解剖よろしく解体して焼鳥にして校舎内で食べた時、厳しく注意され大変困ったこと。T君は今でも焼鳥が好物と聞いています。

## 学名にKurosawaeのついた植物

①和名：クロサワアザミ 赤石山系で採った。  
学名：Cirsium senjoense Kitam var Kurosawae Kitam  
センジョウアザミの変種で、葉は基部で茎を包むようにならない。



和名：イワタカンアオイ (岩田尚喜さんの文章参照)



和名：アベトウヒレン 安部川の奥地で採った。  
学名：Saussurea nipponica  
MIQ var Kurosawae(Kitam)Ohwi  
オオダイトウヒレンの変種で、総苞の外片は広卵形で短い。  
紅紫色の花の色や形はアザミと似ているが、これにはとげがない。



和名：テンリュウカナワラビ  
1965年天竜市伊砂で採った。  
学名：Arachniodes x Kurosawae SHIMURA & KURATA  
オオカナワラビとコバナカナワラビとの雑種と考えられる。

先生が発見された植物の写真を探しましたが、功績にこだわる事のない先生故、意に反してなかなか手に入りませんでした。そこで、級友と、鶴ヶ池へイワタカンアオイを探しに出掛けました。静寂の中で感激の対面となりました。その後「黒澤会」の会長をされている多田達也さん(高1回)を野草造花展会場に訪ねました。イワタカンアオイやササユリの造花が見事に再現されていました。(通子)

“地域とともに夢と豊かさを広げます”

**静岡銀行**

SHIZUOKA BANK

応援します あなたの笑顔

**磐田信用金庫**

理事長 鈴木 優 (高2回)

企画/デザイン/印刷/ホームページ

株式会社 **大進堂**

〒438-0016 静岡県磐田市岩井2295  
TEL(0538)32-9165(代) FAX 35-3720

代表取締役 鈴木康之 (高6回) 専務取締役 鈴木功三 (高12回)  
鈴木 浩 (高27回) 鈴木隆之 (高34回) 大石正直 (高38回)

# 故 竹之内静雄先輩(5回生)を偲ぶ



故・竹之内静雄先輩と横浜のご自宅前で

高10回 杉嶋 岑

## 《死亡記事の特ダネに》

今思えば、私淑していた竹之内静雄氏ご自身のお引き寄せだったのかもしれない。その日(昨年十二月二十六日)私は、いつもの日経金融新聞担当デスクから、たまたま日経本紙夕刊の軟派(社会面系)担当に転じていた。そこに作家・中村真一郎氏の訃報記事があった。ならば、同じ作家で一週間ほど前逝去なされた我が母校の大先輩・竹之内氏の訃報はとつづくに報じられていたのか、と直ちに調べ、ご遺族にも確認したが、どこにも未発表だった。

## 《暴力教師は見かけず》

二十六歳も年下の私が竹之内氏の訃報に接すること

## OB文庫

- 平成9年8月、平成10年7月までの寄贈分(著作及び寄贈)
- ▼子供にそつと追風を 國松 勇著(高8回)
- ▼5分間ストレス解消法 富永宏夫著(高9回)
- ▼寄贈 寄贈者・大桑伴子(高12回)
- ▼言語教育の基本問題 寄贈者・掛井孝之(高22回)
- ▼真・養生学

## 平成9年度会務報告

- 4/7 母校入学式(テレカ販売)
- 4/11 同窓会だより編集委員会 以後、15回
- 4/19 磐田支部総会
- 5/7 役員会、当番年次との打ち合せ会
- 5/13 会計監査、役員と校内幹事との懇談会
- 6/14 役員会、総会当番年次との打ち合わせ・激励会
- 6/21 役員会、評議員会
- 8/2 役員会、総会当番との打ち合せ
- 8/17 慰霊祭(高校19回担当)、第71回同窓会総会(高校28回担当)
- 9/6 関西支部総会
- 9/27 総会当番引継ぎ会議
- 10/2 静岡支部総会
- 10/25 役員選考委員会
- 11/8 関東支部総会
- 11/8 総会担当年次実行委員会(高校29回)以後12/17、1/29、3/19に開催
- 11/15 役員選考委員会
- 11/21 ホームページ運営委員会
- 1/31 評議員懇親会
- 2/15 豊田支部総会
- 2/27 高校50回生同窓会入会式
- 3/2 高校50回卒業式(会員名簿、テレカ販売)

## 平成10年度各種当番年次

- 卒業10周年 高校39回生 (新年次委員選出)
- 卒業20周年 高校29回生 (総会担当)
- 卒業30周年 高校20回生 (慰霊祭担当)
- 卒業40周年 高校10回生 (同窓会資金援助)
- 卒業50周年 高校1回生 (母校に記念品贈呈)
- 中学22回生

## 同窓会会則改正(H10.8.16)

- 第6章 会計
- 第14条 会員は入会の際入会金8,000円を納入するものとする→10,000円
- 第7章 補則
- 第16条 支部名は次の通りである
- 13. 東海(追加)

となり、未来の在り方を自ずと考えさせることになる」と力説された。

# ご遺稿、ぜひ日の目を 師と知と酒を愛したご生涯

面白かったのは「(氏の)素行の成績が丙だったのに、五年生になったとき少し勉強したら、それまで三十番か四十番の学業成績だったのが九番に上がった。すると素行欄を丙から乙上にしてきた。それで、私の行動は昔からちつとも変わっていないのに、乙上に上げるのはおかしい。理由を訊きたい」と教師に激しく抗議した」と話されたこと。「非常に反抗的で良くない生徒だ

は反対側、つまり向こう側から物を見ることを教わった。戦争は世界的に見る必要がある。軽々に善悪を論じてはいけない」。さらに「共産主義は己の絶対無謬性を確信したところにソ連邦などの崩壊の原因があったのではないか。逆に資本主義は共産主義者からの肺腑を抉るような痛烈な批判でも謙虚に受け入れて修正してきたことが生き延びてきた秘密ではないか」と。

竹之内氏は三高から京大に進学したとき「恩師・小島祐馬先生が『支那哲学を勉強しても何の役に立たない』と言われたのがひどく気に入って勉強することにした」と言う。ところが、京大を卒業する時になって「私は小島祐馬・吉川幸次郎という世界一流の学者に師事して苦労して勉強したはずなのに何にも得ていない。私は無学だ、ということだ

けがしみじみわかった。このことは死ぬまで忘れないぞ」と肝に銘じたという。

## 《未来を示すランドサット》

お酒好きな氏は、自らを「ペロ竹」などとおどけて表現されていたが、雪山偈の諸行無常、是生滅法、生滅滅已、寂滅為楽のうち、「寂滅為楽」っていいですね」と盃を重ねつつ繰り返されて、ご心境とダブらせておられた。

そこで、社会部や文化部のデスクと連絡を取り、何とか掲載の運びとなり、ホッとしました。半日遅れ、一日遅れで他紙が追いつき、死亡記事の特ダネという妙な結果になった。

内氏の訃報はとつづくに報じられていたのか、と直ちに調べ、ご遺族にも確認したが、どこにも未発表だった。

「しかし、当時の先生は決して暴力を振るわなかった。殴って人を導くようでは教師として不徳の致すところだ、との信念を持っていたようだ。私は見申上生だが在学中、上級生が下級生に暴力を振るったのを見たことも聞いたこともない」と。この辺は他者の証言とは、やや違っています。

「無学」を肝に銘じて、氏が筑摩書房社長を退職後にトインビーの『歴史の研究』を二年かけて全二十巻(邦訳本)精読した話を皮切りに話題は多岐にわたり、談論風発を愉しむこと三時間余に及んだ。以下、思い出すままに綴ってみると「トインビーには自分と

に進学したとき「恩師・小島祐馬先生が『支那哲学を勉強しても何の役に立たない』と言われたのがひどく気に入って勉強することにした」と言う。ところが、京大を卒業する時になって「私は小島祐馬・吉川幸次郎という世界一流の学者に師事して苦労して勉強したはずなのに何にも得ていない。私は無学だ、ということだ

月濡れず 水破れず」とあるが、東洋の思想は計量化されない価値の追求にある。逆に西洋の思想は計量的価値(例えば経済成長率)の追求にあり、その極致がランドサットに見る地球環境の破壊の映像である。しかし、最近その映像を見たことがない。事実としての地球汚染の状況を知らせることこそ現代人への問題提起

とあり、未来の在り方を自ずと考えさせることになる」と力説された。

# 株式会社 榊形

〒438-0838 静岡県磐田郡豊田町小立野330  
TEL (0538) 35-4344

ジュビロ オフィシャルショップ  
Jチケット・各種イベント



## J-Placa

株式会社ジェイ・プラッカ  
〒438-0078 静岡県磐田市中央町5614-9  
TEL.0538・34・7754 FAX.0538・34・7030

日本の都市は水に囲まれた美しいところでした。その典型はかつての城下町です。こうした知恵を現代の都市づくりに生かそうと思っています。

## 株式会社 地域開発研究所

取締役 兼子 和彦(高22回)

東京都台東区東上野2-7-6 東上野T1ビル

### 2年間の大学合格状況

(数字は過年度卒を含む合格者延べ数)

国公立大	9年	10年	私立大	9年	10年
帯広畜産			文大		7
北海道	4	4	千葉工業		6
東北	7	10	青山学院	4	9
秋田			大妻女子		4
茨城	1	5	学習院	3	3
筑波	1	5	北里		7
群馬			慶応義塾	16	21
埼玉	3	4	国学院	4	7
千葉	8	14	駒澤	9	8
お茶の水	2	3	実践女子		3
東京			芝浦工業	19	5
電気通信			順天堂		4
東京学芸	4	2	上智	3	3
東京工業	1	3	昭和女子		4
一橋	5	4	成城	3	5
横浜国立	9	5	専修	13	10
新潟	1	1	大東文化		4
上越教育			中央	23	15
富山			津田塾	4	6
富山医薬			東海	9	12
金沢	7	5	東京家政		4
福井医科			東京女子	4	3
山梨	7	6	東京造形		3
信州	5	5	東京電機		4
静岡	9	12	東京農業	5	7
静岡教大	15	15	東京理科	27	27
静岡人理	3	2	東洋	8	6
静岡農工	3	3	東邦		3
静岡農情	12	19	日本	31	35
浜医	2	4	日本体育		3
浜医医香			法政	15	15
名古屋	3	1	武蔵工	15	7
名古屋屋	10	11	明治	19	22
名古屋工	2	1	明治学	6	10
岐阜			明星		3
三河	4	4	立教	6	4
滋賀	1	2	立正		5
京都	5	5	早稲田	26	16
京都教育			神奈川	19	14
大阪	6	4	フェリス学院		3
神戸	1	1	聖隷看護		5
奈良女子			常葉学	7	9
奈良取	1	1	愛知	22	21
広島	5	5	愛知学	16	5
徳島			愛知工	11	7
都留文化	2	1	中京	13	12
東京都立	1	1	名古屋	4	3
都立保健			南山	9	9
静岡	2	4	名城	18	14
静岡立			名産	12	12
静岡食香	2	2	京都橋		6
愛知			同志社	18	22
名古屋	2	2	立命	41	27
名古屋市	1	2	立命館	13	19
滋賀			関西	32	21
京都府立			近畿	25	18
京都府立			甲南		6
大阪府立	2	2	その他私立大	212	141
大阪府立			私立大学合計	741	694
大阪府立			短期大学	9年	10年
その他国立大	31	8	国立短期大計	5	9
国立大合計	189	231	市立短期大計	13	12



### 平成10年度同窓会財政収支予算内訳書

#### ●収入 平成10年4月1日～11年3月31日

項目	金額	備考
同窓会入会金	3,296,000	平成10年3月卒業生8,000×412
預金利息・配当金	242,873	
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高10回生)
雑収入	820,000	同窓会報広告代、名簿会計繰入等
前年度繰越金	5,037,127	
前年度前受金振替	▲3,296,000	
合計	6,300,000	

#### ●支出

項目	金額	備考
会務費	2,150,000	
会議費	300,000	役員会・評議員会会議費等
総会・慰霊祭費	400,000	同窓会総会・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	1,000,000	支部総会祝儀・10年会補助等
慶弔費	250,000	転退職職員餞別・弔電等
事務費	150,000	通信費・事務費等
事務局費	50,000	人件費・交通費等
事業費	2,970,000	
はぐま学生会助成費	100,000	大学在学生の会への補助
卒業記念品費	270,000	校章入り印鑑
会報発行費	2,300,000	同窓会報編集・印刷・郵送費
教育振興費	150,000	東海大会等出場選手激励金等
名簿関係費	100,000	卒業生氏名の名簿入力費
諸費	50,000	上記以外の事業費
積立金支出	500,000	
別途積立金会計へ	500,000	
予備費	680,000	
予備費	680,000	
合計	6,300,000	

### 平成9年度同窓会財政収支内訳書

#### ●収入 平成9年4月1日～10年3月31日

項目	金額	備考
同窓会入会金	3,360,000	平成9年3月卒業生8,000×420
預金利息・配当金	239,782	
寄付金	210,000	卒業40周年記念寄付金等(高9回生)
雑収入	849,800	同窓会報広告代、名簿会計繰入等
前年度繰越金	4,950,375	
前年度前受金振替	▲3,360,000	
卒業生前受金	3,296,000	平成10年3月卒業生8,000×412
合計	9,545,957	

#### ●別途積立金会計

1. 一般会計の定期預金	28,670,000
2. 終身会費等の積立金	26,423,314
3. 磐田信用金庫出資金	1,000,000
合計	56,093,314

#### ●支出

項目	金額	備考
会務費	1,533,322	
会議費	188,447	役員会・評議員会会議費等
総会・慰霊祭費	304,155	同窓会総会・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	814,100	支部総会祝儀・10年会補助等
慶弔費	148,476	転退職職員餞別・弔電等
事務費	78,144	通信費・事務費等
事務局費	0	人件費・交通費等
事業費	2,475,508	
はぐま学生会助成費	0	大学在学生の会への補助等
卒業記念品費	247,200	校章入り印鑑
会報発行費	2,053,164	同窓会報編集・印刷・郵送費
教育振興費	94,000	東海大会等出場選手激励金等
名簿関係費	81,144	卒業生氏名の名簿入力費
諸費	0	
積立金支出	500,000	
別途積立金会計へ	500,000	
定期預金分へ	0	一般会計の定期預金分
予備費	0	
予備費	0	
繰越金	5,037,127	
合計	9,545,957	

### 平成10年度 同窓会役員

第18代会長(新任) 鈴木源市 高6	副会長(新任) 櫻井孝順 高17
副会長(新任) 鈴木茂徳 高9	副会長 村田教子 高18
副会長 大橋 忍 高11	会計監査(新任) 大橋孝久 高10
副会長(新任) 元場宣雄 高12	会計監査 石川大造 高12
副会長(新任) 長尾正樹 高14	

**事務局より**

江間会長は、竹内前会長の急逝をうけ代行を含めて実質五年間にわたり多くの実績を上げられ鈴木新会長にバトンタッチされました。事務局担当者として、会長の同窓会活性化に向けられた強い信念と行動力に敬意を表します。

会長は、支部活動の活性化のため積極的に支部にかけ、予算面でも助成をはかり、特に総会担当年次には担当十年前より助成金を支出して活動を促しました。また、厳しい情勢下の予算編成において、会員名簿の

売上げで大幅な増収をはかるなど正に事業家として手腕を発揮されました。

鈴木新会長は、昭和33年より51年まで母校に奉職され多くの卒業生が教えを受けております。その卓越した指導力を発揮されて必ずや同窓会を発展させていただけるものと期待しております。

今春の人事異動で、柴田校長がご勇退、田中教頭が富士養護学校校長に栄転され、後任に油井校長と川合教頭が赴任されました。教諭では退職3名転任6名の異動がありました。南高でのご指導を感謝申し上げます。校内幹事では、後藤・山本・鈴木祥3先生が転退職され、磯部・三宅・鴨藤3先生と伊藤が赴任しました。後藤先生は総務課主任として、山本先生は同窓会事務局長として活躍されました。なお山本先生は講師として母校に残られ事務局でご活躍されております。

学校行事では、4月にテニス部を中心としたマウンテンビュー高校生来訪があり国際交流の成果をあげました。部活動では、陸上・水泳・空手道で全国に通じる活動が見られ、文化部でも地学・生物・自然観察の研究実績が認められて山崎賞学校賞を受賞し、生物部単独でも環境庁長官賞を受賞しました。

それについても、昭和17年から41年にかけて母校に奉職され、生物の授業を中心に大きな影響を卒業生に与えられた黒澤美房先生が昨年8月ご逝去されたことに哀悼の念を禁じ得ません。

**編集室から**

毎回の集まりに刺激を受けることしきり、次回を心待ちに帰る私でした。大石昭子▼スタッフの新聞への熱い思いを体感。すばらしい出会いに感謝。鈴木富士子▼見性寺境内に大師堂を見つけ、桐馬先生の墓前に生花を供え続けている先輩が御大師さまに重なりました。橋本洋子▼妙なるかな出会い、湖面に投げた石のごとく波紋を広げてゆく。橋本由子▼時間を掛けた甲斐があったと思われ(れる)は(自発)ことを願いつつ。松村由子▼また、この度もいろいろな出会いがありがとつ。明神敬子▼編集作業は苦しくてせつなくてストレスたまって体重増えて。村田教子▼毎回の集まりが私のエネルギー充電の場。出会いに感謝。村松あきえ▼たまに顔を出す。編集員女史達の談話風発と同窓会への熱い思いに圧倒されました。山本達男

暮らしに身近かな足として  
無線騒音の少ないAVMコンピューター自動迅速配車!

袋井 **交通タクシー**

842-2251  
フリーダイヤル 012-012-2251

はるばる はるの  
**小林建設株式会社**

代表取締役 小林 彰 (高22回)  
静岡県周智郡春野町気田901の4  
☎ 0539-89-0123

処方せん調剤・医薬品  
**(有)川崎屋 森川薬局**

広岡店・大門東店・笠原店・浅羽店・あすなろ店  
本部：袋井市川井40-1 TEL.42-2336  
森川和美・博史(高22回) 令子(高24回)

調剤業務拡張につき  
**薬剤師募集中(5名)**